

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	動物処理事業						担当部	環境交通部							
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	リサイクルプラザ							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	清掃資源係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		3 地域の環境美化を推進する									
		副目的														
	予算区分	款	4		項	2		目	2		大	4		中	5	
	根拠法令・個別計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、小牧市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市内で発生する犬猫等動物の死体を収集・焼却処理を図る。														
	内容 (手段)	<p>ペットの死体や、飼い主の無い動物の死体の収集・焼却処理をおこなった。飼い主のある場合は死体持込で1体当たり1,530円、収集に行った場合2,040円の処理手数料が必要。飼い主の無い動物の死体の収集・処理は無料。持ち込み以外の死体の収集は市民からの通報を逐次収集委託業者に連絡し委託業者が収集。処理手数料は動物処理事業の委託料に充当。</p> <p>【24直接経費の内訳】 動物死体収集運搬委託料(3,933千円) 動物死体焼却委託料(2,381千円) 犬猫処理施設設備保守管理委託料(1,583千円) 燃料費・光熱水費・修繕料(3,107千円) ダイオキシン類測定委託料(735千円) 通信運搬費・手数料(46千円)</p> <p>【25直接経費の内訳】 動物死体収集運搬委託料(4,290千円) 動物死体焼却委託料(3,500千円) 犬猫処理施設設備保守管理委託料(158千円) 燃料費・光熱水費・修繕料(261千円) 通信運搬費(6千円)</p> <p>○25年度実施内容 犬猫処理施設で行っていた動物死体焼却を民間の処理施設での焼却処理に変更して実施する。</p>														
	受益者負担	有 飼い主のある場合は死体持込で1体当たり1,530円(1,530円×339体=518,670円) 収集に行った場合2,040円(2,040円×217体=442,680円)														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	11,761	11,852	11,785	8,215	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,066	1,066	1,066	1,066
		その他職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	75	75	75	75
	費用合計	千円	12,902	12,993	12,926	9,356		
対前年比	%			100.7	99.4	72.3		
財源	一般財源	千円	11,949	11,925	11,965	8,489		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	953	1,068	961	867		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	動物の死体処理数	体	目標	—	—	—	—
			実績	1,513	1,609	1,533	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	動物の死体処理数	体	目標	—	—	—	—
			実績	1,513	1,609	1,533	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	市内で発生した動物の死体を収集し焼却処理した。		
		事業実施における課題	地域猫の死体の取り扱い及び4車線道路等の幹線道路における動物の死体収集の折、収集員の安全確保の問題がある。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	動物の死体の迅速な処理が行われず衛生環境が悪化する。		
	改善内容	平成25年度の改善内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	犬猫処理施設で行っていた動物死体焼却を民間の処理施設での焼却処理にかえることにより経費の縮減を図った。		
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
		判定理由	市内で発生した動物の死体を適切に処理できているため。		
26年度以降の改善案		民間施設での動物死体焼却について、効率よくできるよう努める。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。